

# 「まいぷろ ～Miyagino Young PROGRAM～」

宮城野区中央市民センター

## 1 事業概要

自分たちで取材先を決定して宮城野区の魅力を探り、取材を通して執筆した記事を web 記事等で発信する事業です。若者が地域に関心をもって地域の魅力に気づき、仲間と協働していくことで地域課題の解決につながります。参加者は、「コミュニケーション力」や「文章などで伝える力」などを高めていきます。これらの体験を通して、これからの地域の担い手となる人づくりを目指します。

## 2 令和4年度の活動

今年度は尚絅学院高校と宮城野高校の1・2年生から申込があり、14名のメンバーで活動を開始しました。この事業に参加して「身に付けたい力は何か」を申込の時点で回答を求めたところ、高校生の8割がコミュニケーション能力を挙げました。基本的に月1回の全体会で集まりながら、年度初めは、学年や学校が異なるメンバーとコミュニケーション系のアクティビティを体験していきました。ペアで役割を決めて質問したり、あいづちを打つ活動を体験したり、言葉で絵を伝える活動、名刺交換の体験、グループでのコミュニケーション活動などを行いました。



取材先は自己決定し、2～4人ずつで5つの取材先が決定しました。取材前に学んでおきたいことがないか尋ねたところ、取材のプロから取材方法について学びたいという声があったことから、事前研修として、ローカルニュースサイト TOHOKU360 の編集デスクである佐藤和文氏を講師に迎え、取材活動の基本（取材の段取りやインタビューの仕方、記事の書き方等）について学びました。

その後、グループごとに取材に出かけ、記事を執筆しました。講師の佐藤氏にご指導いただき、TOHOKU360 のウェブサイト等で情報発信予定です。

### ◆令和4年度の取材先

- ①歴史民俗資料館
- ②アンパンマンミュージアム
- ③夏祭り（すずめ踊り）
- ④宮城野区のおすすめフード
- ⑤子育て支援（いわきり子育てネットワーク）



## 3 成果と課題

取材から執筆までグループで調整し協働できたことや、それらを通して身近な地域の魅力に気付けたことは、事業のねらいに十分迫ることができたと考えます。また、自分たちの学びの必要感から講師を依頼し、自分たちで地域の方とかわり、記事の調整をしていくという一連の活動を通して、社会・地域の一員として、自発的・主体的に行動できる人づくりに繋がりました。

課題としては、年度で完結する事業の性質があるため、メンバーが年度を越えてつながる事業の仕掛けづくりが必要です。

メンバーがこれまで書いた Web 記事を掲載しています（協力：TOHOKU360）



## 4 今後の展望

当事業で執筆した記事が令和2年度から着々と増えて Web 上に掲載されています。今後も活動を継続しながら記事を発信し、若者の視点で書かれた地域の魅力を多くの方々に届けていきたいと思ひます。